

持続可能な国際競技力向上プラン〈概要〉

2016年10月に策定した「競技力強化のための今後の支援方針」に基づくこれまでの取組の成果を踏まえつつ、オリ・パラ大会実施競技以外の競技も含め、持続可能な国際競技力向上の取組を進めるためのプランを策定。



〈基本的な考え方〉

- 東京大会での好成績を一過性のものとせず、かつ、少子化が進む我が国において持続的に国際競技力の維持・向上を図っていくためには、
 - より多くの優れた能力を有するアスリートを見出し、育成・強化する仕組みの構築
 - デジタル技術とスポーツ医・科学的な知見を活用した誰もがより質の高いトレーニングができる環境の整備が必要
- ➡ これにより全てのアスリートが可能性を発揮することができる環境の実現を目指す

〈施策の方向性〉

(1) アスリートの発掘・育成・強化の取組のシステム化・プログラム化

- ・ 強化戦略プランに基づくアスリート育成パスウェイの構築
- ・ 戦略的な選手強化の実施に向けた支援、コーチ等の育成・配置充実
- ・ パラ競技の国際競技力向上とオリ・パラ連携の促進
- ・ 競技団体の組織基盤の強化

(2) 居住地等にかかわらず、全国でスポーツ医・科学、情報等によるサポートを受けられる環境の実現

- ・ スポーツ医・科学、情報等による競技力強化のための支援・研究の推進
- ・ 全てのアスリートが健康に競技を継続し、最大のパフォーマンスを発揮できる環境の整備(女性アスリートの健康課題、心理面)

(3) 地域における競技力向上を支える体制の構築など、国と地方の競技力向上施策の連携強化

- ・ 地域における競技力向上を支える体制整備

〈評価・検証〉

- 今後実施する取組については、オリ・パラ大会等における競技成績などを踏まえてその成果を検証し、随時見直しを実施

<今後の具体的な施策・取組>

1. 中央競技団体（NF）による選手強化活動の基盤の確立・強化

(1)戦略的な選手強化の実施に向けた支援

- ・ 協働コンサル等、NFの強化戦略プランの実効化に向けた多面的な支援
- ・ メダル獲得可能性が高い「重点支援競技」の選定

(2)コーチ等の育成・配置充実

- ・ NF全体の強化責任者、監督、コーチ、スタッフ等の役割の明確化、海外からの招へいを含む優秀な人材の配置支援

(3)競技団体の組織基盤の強化

- ・ NFの自立的な運営に向けた組織基盤強化の取組を促進

2. パスウェイに基づく地域と一体となったアスリートの育成

(1)強化戦略プランに基づくアスリート育成パスウェイの構築

- ・ アスリートの発掘・育成・強化を一貫して行うべく、日本版FTEM等を活用し、各NFにおけるアスリート育成パスウェイを構築

(2)地域における競技力向上を支える体制の整備

- ・ 地域におけるスポーツ医・科学支援機能の向上
- ・ NF、都道府県競技団体（PF）、地方公共団体、都道府県体育スポーツ・障害者スポーツ協会、地域のスポーツ医・科学センター、大学、企業等が連携して地域の競技力向上を支える体制の構築

3. アスリートへのスポーツ医・科学、情報等による支援の充実

(1)スポーツ医・科学、情報等による国際競技力向上のための研究・支援の推進

- ① ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）におけるスポーツ医・科学、情報等の研究・支援の充実
 - ・ 諸外国のメダル獲得戦略や選手強化方法等に関する情報収集・分析を強化
 - ・ リモート機器や先端技術を活用した多様な支援手法の研究
 - ・ スポーツ医・科学、情報等に基づくNFの選手強化活動を一層促進
- ② NTC競技別強化拠点における機能強化
 - ・ HPSC、大学、医療機関、地域のスポーツ医・科学センター等との連携強化を通じたサポートの充実
- ③ 大学等とHPSCとの連携による我が国のスポーツ医・科学研究の推進と人材育成

(2)全てのアスリートが健康に競技を継続し、最大のパフォーマンスを発揮できる環境の整備

- ① 女性アスリートが健康に競技を継続するための環境整備
 - ・ 産前産後のトレーニング等の競技復帰支援、女性コーチの育成
 - ・ ジュニア段階を含む、女性アスリートの健康課題に係る科学的根拠に基づく育成・強化等
- ② 心理面での支援
 - ・ アスリート・ウェルビーイングの向上に向けた心理面でのサポート（メンタルトレーニングを含む）の充実

4. パラ競技の国際競技力向上とオリ・パラ連携の促進

- ・ クラス分けに係る調査研究や人材育成・配置
- ・ コーチ等の育成・配置、パラ競技用具の研究、パラ競技のトレーニング方法等に係る研究推進
- ・ オリ・パラの競技団体の連携強化